



国民の森林・国森林

# 森林ふれあい情報

平成23年10月  
第20号

中部森林管理局木曾森林環境保全ふれあいセンター  
〒399-0001 長野県木曾郡木曾町福島5471-1  
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151  
E-mail:kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

## ボランティア活動の支援

### 樹齢300年の森林づくり

NPO法人地球緑化センターでは市民参加の森林づくり活動として、赤沢自然休養林に「ふれあいの森」を設定して、ボランティアによる長期の森づくりを目指して活動しています。

今年も6月に続き7月9日～10日と2日間にわたり間伐を実施しました。



作業前の入念な準備運動



息を合わせて安全作業

当ふれあいセンターでは、管轄の木曾森林管理署と協力して作業用具の貸し出しと技術指導など支援しました。梅雨の晴れ間の蒸し暑い時期にもかかわらず、都会からの参加者は時折吹く沢風に涼を感じながら作業に汗を流しました。

## 高校生の森林ボランティア

愛知県立阿久比高校は夏休みの期間中に全校生徒で、サマーボランティア活動をしています。今年も8月9日に引率教師4名を含む男女35名が王滝村長野県部地震災害復旧地のボランティアによる森林再生を目的に設定された「国民の森」で、混み合ったヤマハノキ、ヒノキなどの間伐を行いました。



治山課長の概要説明



ふれあいセンター職員の技術指導

朝7時に阿久比町役場を出発した一行は疲れた様子も見せず現地に着き昼食を取ったのち、木曾署の治山課長の概要説明を受け作業に取りかかりました。当ふれあいセンターでは所長はじめ2人の職員が、安全に作業できるよう技術指導を行いました。



### 受け口は出来た、次は追い口だ

昨年に続き2回目という生徒もいましたが、殆どの生徒が初めての体験で、ノコギリを使う作業にもかかわらず「自然の中での作業は楽しい」との感想が聞かれました。

## ボランティアによる木曾駒ヶ岳 植生復元事業

中央アルプス木曾駒ヶ岳周辺では、過去の登山者の入り込み増加が誘因と考えられる踏み荒らし等によって、高山植物の荒廃が進行しており、加えて大量の降雨、降雪による砂礫の移動や強風が植生の荒廃に拍車をかけています。

このような植生の衰退を食い止めるため、植生マット敷設による植生復元作業を、ボランティアをはじめ総勢36名で実施しました。

今年度のマットの敷設面積は新規・補修合わせて165m<sup>2</sup>で、天狗荘北西と駒ヶ岳八合目(伊那前岳方面)付近で行いました。



本作業は17年度を皮切りに1,245m<sup>2</sup>が実行されてきました。

高山帯環境下で、厳しい生育環境であることから結果が出るまでに時間がかかり、現地の一進一退の状況に一喜一憂しています。現在までの取組みにより砂礫の移動が止まり、植生の復元が見られるようになりました。



H17年実行地の復元状況



今回実行前



実行中



実行後



## 普及の取組み

### 教職員を対象とした森林・林業 体験学習研修会

児童・生徒に森林・林業について理解を深めてもらう目的で、教職員自ら森林を歩き林業を体験する研修会を8月2日木曾森林管理署南木曾支署管内の阿寺国有林で実施しました。

当日は、木曾出身の教員OBで植物に詳しい、楯先生に案内をお願いし阿寺溪谷の植物を観察しました。



多くの植物を確認

植物観察に続き間伐跡地に移動して、所長から間伐の必要性と効果について説明を行いました。



所長による間伐効果の説明

午後は大桑村で神社仏閣等文化財の柿板等屋根葺き材を専門に製作している工場と、上松町でネズコ材を薄く剥ぎ壁板や天井板を編む網代工房を見学しました。



こけらいた  
柿板の製作



一坪分四束の柿板製品



神業の剥ぎ作業



網代編み製品の衝立

木曾で生産されるサワラ・ネズコ等の天然材が職人の技術を育み、歴史的建造物の維持修復に貢献していることを参加者一同再認識し、職人の手さばきに見とれていました。

## 支援・連携の取組

### みよし市友好の森 ふれあいツアー支援

木曾川の恩恵を受けている愛知県みよし市は、平成12年1月に木曾川の水源となる木曾町三岳、御岳黒沢国有林841林班の一部を「友好の森」として取得し、市民がツアーを組んで森林整備に訪れ、水源地域と交流をしています。

今年も7月30日に、市民や親子連れが21名、木曾町からはみどりの少年団13名、大人10名が参加し、関係者を含めて総勢75名で、間伐体験に汗を流し、森林教室に耳を傾け、樹木を計るネイチャーゲームをチームで楽しみ、交流を図りました。当センターは木曾森林管理署職員とともに間伐体験の指導者や森林教室の講師を担当して支援をしました。



75名が交流



真剣に間伐体験

### みどりの少年団交流会支援

木曾地域のみどりの少年団が一堂に会し、自然の中で交流を深める木曾地区みどりの少年団交流集会在8月1日県木曾地方事務所の主催で開催され、当ふれあいセンターも支援として参加しました。この交流会は木曾地域の町村で毎年実施されているもので、今年南木曾町の天白公園周辺を会場に13団体200名の団員が参加してウォークラリーや竹細工をして交流

を深めました。



### 長野県シルバー人材センター主催 シニアワークプログラム講習会支援

長野県シルバー人材センター連合会では高齢者の方が、森林保全の基礎的な知識と技能を習得することにより、有利な条件で雇用・就業に繋がるための講習会を実施しています。

今年度は全課程10日間の予定で、9月21日から林業や森林保全についてそれぞれの専門の知識を有する講師により講習会が開催されました。



講習会の様子

9月26日は当ふれあいセンターで森林保全作業における安全確保として「掛かり木の処理とハチ対策等」について26名の受講者が講習を受けました。午後はナタ・カマ等刃物の研ぎ方を教わり、後日の除伐実習に備えました。



鎌研ぎの基本は先ず固定から

講習は林業の歴史、森林の育て方、林業機械や道具の使用・手入れ、安全衛生教育など幅広い分野にわたって行われることから、一層の森林整備が進むことが期待されます。